

カリキュラムの概要書

講座 No.	K03-2	講座名	介護福祉士養成	定員	7人
対象者	介護専門職として介護を担う人材				
修了の要件	卒業をもって訓練修了とするもの				
講座内容	介護福祉士の国家資格受験資格を取得することを目指す。介護に関する知識と技術を習得することに加え「真の人間理解と人に仕え学ぶ心」を持ち続けられる人間育成に重点を置く。介護福祉士を目指し、福祉の向上に貢献するスペシャリストを育成する。				
実施施設	関東福祉専門学校				
所在地	埼玉県鴻巣市中央23-10				
連絡先電話	048-542-3000				
最寄駅	JR高崎線 鴻巣駅 東口 徒歩 20分 ・バス 5分				
訓練期間	令和3年4月2日(金)～令和5年3月6日(月) [予定]				
訓練時間	午前9時00分～午後4時10分(90分1時限:1日1時限)				
自己負担額	テキスト54,000円程度(2年間分)、実習着一式23,000円、その他50,000円程度(登録料、卒業関連費用等)				
オンライン授業の有無	無				
修了で得られる資格	介護福祉士国家試験受験資格、専門士(教育・社会福祉専門課程)				
受講で目指せる資格	無				
目標とする人材像	あたたかい心を持った「介護のスペシャリスト」として、介護に関する知識と技術を取得することに加えて、介護される方への理解を深め、本人の自主性を尊重し、生きがいを見出せるような関係を作り出すことができる。				
修了後の関連職種	介護福祉士、介護支援専門員、介護教員 など				

		科目	教科	内容	時限数
1 年 次	学 科 ・ 演 習	人間の理解	人間関係とコミュニケーションⅠ	人間関係と心理、対人コミュニケーションについて理解を深める	15
		社会の理解	社会の理解Ⅰ	人間の生活と社会の係り、自助から公助に至る過程について理解する	15
			社会の理解Ⅱ	社会保障の基本的な考え方、歴史のしくみについて理解をする	15
			社会の理解Ⅲ	介護保険制度と障害者自立支援法についてなど、介護実践に必要な観点から基本的知識を習得する	15
		福祉の哲学	福祉の哲学	現代社会の基礎的問題を理解し、社会をみつめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える	15
		介護の基本	介護の基本Ⅰ	介護福祉士としての基本的な役割の理解。「尊厳の保持」「自立支援」の考え方を理解する。介護における安全やチームワークの在り方について理解する	30
			介護の基本Ⅱ	介護福祉士として、他職種との協働やケアマネジメントなどの制度のしくみをふまえ、具体的な事例について介護を展開できる能力を養う	30
		コミュニケーション技術	コミュニケーション技術Ⅰ	利用者利用者家族とのコミュニケーション能力を身に付ける	15
		発達と老化の理解	発達と老化の理解Ⅰ	発達の観点から老化を理解する。成長と発達に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎知識を習得する	15
			発達と老化の理解Ⅱ	老化に伴うからだの変化と高齢者に多い疾患について学ぶ	15
		認知症の理解	認知症の理解Ⅰ	認知症に関する医学的基礎知識を習得するとともに、認知症の特性を理解し、取り巻く環境に配慮した介護について学ぶ	15
		こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ	人間の欲求の基本的理解、自己概念と尊厳、こころのしくみの基礎を学ぶ	15
			こころとからだのしくみⅡ	人体の構造・機能をこころとからだから理解する	15
			こころとからだのしくみⅢ	人間の生活の基本である移動・食事・入浴・排泄・睡眠のしくみを理解し、それらが障害を受ける原因と状態を学び、介護との関連性を探る	15
		人間の理解	人間の尊厳と自立	介護における「人間の尊重と自立」の大切さを学ぶ	15
人間関係とコミュニケーションⅡ	人間関係と心理、対人コミュニケーションについて理解を深める		15		
アクティビティ演習	アクティビティサービス	アクティビティサービスについて理解を深めるとともに、実践的な知識と技術を身に付ける	15		
介護の基本	介護の基本Ⅲ	介護福祉士の資格や役割について理解し、保険・医療・福祉の専門職がどのようにサービスを提供するのか、その際にどのように連携していくのかを学ぶ	30		

主なカリキュラム	2 年次	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術Ⅱ	同職種、他職種との協働におけるコミュニケーション能力を身に付ける(記録・報告・会議について学ぶ)	15	
		認知症の理解	認知症の理解Ⅱ	認知症の行動・心理症状・機能変化と日常生活への支援方法としてのパーソンセンタードケアとその人らしさを大切に介護の理論と実践を学ぶ	15	
		障害の理解	障害の理解Ⅰ	障害の基礎的知識や基本的理念を学び、障害のある人の生活について身体的側面、医学的基礎知識を学ぶ	15	
			障害の理解Ⅱ	精神疾患による障害のある人の生活などについて学び、障害のある人に対する介護や家族支援、連携のあり方について学ぶ	15	
		こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅢ	人間の生活の基本である移動・食事・入浴・排泄・睡眠のしくみを理解し、それらが障害を受ける原因と状態を学び、介護との関連性を探る	15	
		医療的ケア	医療的ケアⅠ	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識、技術を学ぶ	34	
	1 年次	生活支援技術	生活支援技術Ⅰ	心身ともに健康で快適な日常生活を送る事が出来るようになるための介護技術を習得する	30	
			生活支援技術Ⅱ	日常生活における基本的な介護技法を学び、実際の福祉現場で創意工夫のできる介護技術を習得する	30	
			生活支援技術Ⅲ	利用者の状態、状況についての確にアセスメントし、尊厳を重視し、ADLを踏まえた自立支援や個別ケアに繋がる介護技術の提供の必要性を理解する	30	
		介護過程	介護過程Ⅰ	学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案し適切な介護サービスの提供ができる機能を養う	15	
			介護過程Ⅱ	介護の実践課程を構成する要素の特性や活用方法を学び、目的と目標を長期的・短期的な視点で立てるようになる	15	
		介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	介護福祉士という職業・資格に対するイメージを膨らませ、意欲を維持しながら初めての実習への動機づけを高める	15	
			介護総合演習Ⅱ	第1段階実習において明確化した課題改善に向け、介護福祉士に必要な知識・技術の向上を目指す。	15	
		介護実習	介護実習Ⅰ(第1段階)	施設での介護実習を行う	60	
			介護実習Ⅱ(第2段階)	施設での介護実習を行う	64	
		2 年次	生活支援技術	生活支援技術Ⅳ	生活支援の必要な人を理解する為に、家庭生活に関わる基本知識を確認する。家事支援における基本を学び、生活支援技術を体験から学ぶ	30
				生活支援技術Ⅴ	基本介護技術を中心とした意義や目的の理解に重点を置き、現場に出ても応用できるように学ぶ	30
			介護過程	介護過程Ⅲ	介護現場で現在使用されているアセスメントツールの特性を理解し、各自でオリジナルのアセスメントツールを作成し発表する	30
				介護過程Ⅳ	介護過程を学ぶ最終段階として、模擬カンファレンスを通して協同的問題解決を中心に理解する	15
			介護総合演習	介護総合演習Ⅲ	演習や介護過程の授業と連携し、事例研究、介護計画立案の実戦等を取り入れ第3段階実習に対応した個別指導を実施する	15
	介護総合演習Ⅳ			実践力のある介護福祉士になるため第1・2・3段階実習に基づき問題解決法の習得、事例研究と繋げた授業	15	
	介護実習		介護実習Ⅲ(第3段階)	施設での介護実習を行う	80	
			介護実習Ⅳ(第4段階)	施設での介護実習を行う	40	
	医療的ケア	医療的ケアⅡ	医療的ケアⅠで学んだ事を基礎に、シュミレーターで実際に喀痰吸引、経管栄養の技術について修得する	12		
		学習評価	定期試験	中間試験、期末試験、卒業試験、成績発表の登校日等		
		科目登録等ガイダンス		科目登録等ガイダンス日、次年度クラス発表等		
	学校行事等	1年次	スポーツ大会	1年・2年合同で球技大会を行う		
2年次		学園祭	クラスで出店の計画、進行し、文化祭を行う			
就職支援	1年次	スポーツ大会	1年・2年合同で球技大会を行う			
	2年次	学園祭	クラスで出店の計画、進行し、文化祭を行う			
	マナー接遇					
	国家試験受験対策			86		
	キャリアコンサルティング			3		
	入校式・オリエンテーション		入校式・オリエンテーション	2		
	ガイダンス・修了式		ガイダンス・修了式	2		
			総時限数	1058		
			総時間数	2116		